Japan Geoscience Union Meeting 2011
(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)
©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.

PEM005-P01 会場:コンベンションホール 時間:5 月 26 日 10:30-13:00

太陽風からみたSC
Geomagnetic sudden commencement(SC) seen from the solar wind

荒木 徹 [1*], 菊池 崇 [2], 新堀 淳樹 [3]
Tohru Araki[1*], Takashi Kikuchi[2], Atsuki Shinbori[3]

[1] 中国極地研究所, [2] 名古屋大学太陽地球環境研究所, [3] 京都大学生存圏研究所
[1]Polar Research Institute of China, [2]STE Lab., Nagoya Univ., [3]RISH, Kyoto UNiv.

地磁気急始変化（Geomagnetic Sudden Commencement; SC) が太陽風衝撃波／不連続面の動圧増加によって作られる事は良く分かっている．しかし，動圧増加を伴う太陽風衝撃波／不連続面の全てが SC を作るかどうかは分かっていない．地上観測の SC リストから対応する太陽風を調べた研究は幾つかあるが，太陽風衝撃波／不連続面のリストから出発して，対応地上変化を詳しく解析した例はない．ここでは，それを調べる．

Takeuchi et al.[2002] は，動圧変化がほぼ同じ二つの太陽風衝撃波が異なる地上磁場変化を生じさせ，それが衝撃波波面の傾きの違いによることを見い出した．衝撃波が斜め入射する場合は，磁気圏との相互作用時間が長くなって対応地上磁場変化がが急始型でなくなるので SC と判定されない．これは，太陽風衝撃波／不連続面が磁気圏圧縮の有効サイズを通過する時間によって SC の rise time が決まるという考え方 [Araki，2007］と合致する．

これが，他の多くの SC について成立するかどうかを，まず調べる．

キーワード: 地磁気急始変化, 太陽風, 惑星間空間衝撃波/不連続面, 磁気圏, 電離層
Keywords: Geomagnetic sudden commkencement (SC), solar wind, interplqanetary shock/discontinuity, magnetosphere, ionosphere